

第1回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

日時：令和2年4月21日（火）17:30～

場所：京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

※新型コロナウイルス感染症防止対策のため延期し、その後も非常事態宣言が出される等、感染拡大防止措置が必要となったことから、5月中旬に書面会議を開催した。

1 議題等

(1) 令和2年度役員（案）について

- ・丹後教科用図書採択地区協議会申合せ事項に基づき、令和2年度の役員を決定

〈会長〉：宮津市教育委員会 山本 雅弘 教育長

〈副会長〉：京丹後市教育委員会 吉岡 喜代和 教育長

〈監査委員〉：伊根町教育委員会 岩佐 好正 教育長

〈監査委員〉：与謝野町教育委員会 塩見 定生 教育長

(2) 令和元年度運営報告並びに収支決算書（案）及び会計監査報告について

- ・運営報告並びに収支決算書（案）及び会計監査報告について

(3) 令和2年度の日程（案）並びに予算（案）について

- ・採択に係る日程（案）並びに予算（案）について

(4) 令和2年度調査員の委嘱（案）について

- ・調査員の委嘱（案）について

(5) 丹後教科用図書採択地区協議会に係る継続協議事項について

- ・引き続き協議

2 上記の議題について、書面表決書にて承認

第2回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

令和2年7月22日(水) 13:30~17:05
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

1 開会(地区協議会会長あいさつ 宮津市山本教育長)

2 令和3年度使用中学校教科用図書に関する研究報告

【理科】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P11~12)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 デジタルコンテンツの活用のための二次元コードを表示している数が、教科書によって差があるようだが、これからの子ども達に指導していく場合、この数の差についてはどう感じられたか。
- ・代表調査員 数については、指導者側に立って指導課程の中にどのように位置付けるかが、一つのポイントになると考えました。QRコードが付いていますので、生徒一人一人がそれを読み込んで自学自習することにも関連があると思いますが、学習内容との関連の中でどのように指導するかということになりますと、量的問題よりも質的な問題も一方であるのではないかと考えますので、数が多いほど有効だとは言えないが、興味関心を抱く、また、調べていく過程においては、数が多い方が有効になる場合もあると思います。
- ・委員 理科はずっと、同一発行者が続いている。このことが、教科制の先生が教える中学校では、マンネリ化にはならないか。新しい教科書になれば、ハードルが上がり指導の仕方も見直したりされるのか。
- ・代表調査員 各社とも新たなコンセプトで作られていることを強く感じましたので、指導者側からしますと、ハードルが高くなっている反面、新鮮さがあると思います。これは各社共通して言えるので、それぞれの特徴はありますが、科学的な探求の力を身に着けることと実生活との関連を図りながら、理科の学習を進めるかという点が重要視されているところです。
- ・委員 先ほどの質問に関連して、デジタルコンテンツの内容は重要だと思うが、数は、やはり多い方が良いと思うがどう思われるか。
- ・代表調査員 これからの時代を生きていく子ども達の状況を考えますと、インターネットやタブレットを使ってさらに思考を深めるための重要なツールだと思いますので、一定量のデジタルコンテンツの数は必要だと思っています。教室の中でタブレットでQRコードを読み取って学習する、今までにはない授業になる教科書だと思います。
- ・委員 これまでの教科書にあった課題を解消されている点は見られたか。
- 代表調査員 これまでの教科書にあった課題が新しい教科書になった場合に解決がされているかとの点については把握できていませんが、教科書を教えるのではなく、教科書で目標を達成するために学習活動を進めるということですので、課題があったとは考えていない。
- ・委員 索引の数に差があると報告いただいたが、この点の影響はあるのか。

- ・代表調査員 自学自習の際に、用語を調べながら学習をする意味では、索引は大きな手掛かりになると思っていますので、索引数、用語数について報告させていただいた。
- ・委員 理科離れと言われているが、特に工夫されている点があれば教えてほしい。
- ・代表調査員 実生活、実社会の将来との関連がどれだけ記載されているかが、理科に対して興味関心に繋がっているが、日本の子ども達は他国に比べて低いとされている。この点においては、新学習指導要領では改訂されている。強調されているのが、実生活、実社会との関連と理科の学習をいかに関連付けて学習を進めるかとなる。この点について、各社とも取り扱っているが、科学に関する掲載記事に少し差がありました。読み物資料や科学的な記事を多く扱っているのは啓林館でした。
- ・委員 小学校との関連について、配慮されていると感じられたか。
- ・代表調査員 報告書に小学校の既習内容の数を掲載しているが、数だけではなく、掲載の仕方にも差がありました。単元の始めと関連するページに掲載があるのは、啓林館、教出、学図、大日本でした。
- ・委員 教科書の版について違いがあるが、理科については実験などあるが、版の違いによって影響はあるのか。また、版とページ数に各社違いがあるが、ページ数が少ない教科書は文字フォントが小さいのか。学図以外は1年生用のみ文字フォントが大きいですが、違いはあると思うか。
- ・代表調査員 A4スリム版、B5番、A B版と3種類ありますが、レイアウトについては、A4スリム版は縦長で本文を中心に上下に図や表を配置している。B5版は、文字数が少し少ないように感じるが、余白もしっかりあり、特に版の小ささは感じないが、レイアウトもすっきりとしている印象を受ける。A B版については、横にも広いためバランスとしては見やすく感じます。文字フォントについては、1年生用のみ大きい文字フォントにしている教科書は、文字が読みやすい印象がありますので、小学校からの系統性を考えると配慮が有効だと思っています。ページ数の違いについては、掲載文書等の関連もありますので、一概には判断できないと感じています。
- ・委員 二次元コードの箇所数が東書と啓林館が同じだが、間違いはないか。
- ・代表調査員 東書の報告書記載が誤っております。東書の二次元コードを1年17箇所、2年24箇所、3年30箇所に訂正いたします。
- ・委員 色合いについても差があると感じるし、文字フォントが同じでも、文字間や行間にも違いがあるように思うが、子ども達にはどうなのか。
- ・代表調査員 生徒が教科書を読んだ時の感じ方に、違いは出てくると思います。文字フォントや文字間、行間にもどれだけ配慮がされているかが、ユニバーサルデザインの一つの要素だと考えています。

【美術】

① 代表調査員の報告

- ・調査員3名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P14～15)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 報告の中で、QRコードの数にかなりの差があるが、実際やってみると、開隆堂は数が多いが作品からさらにどこにこの作品があるか美術館にとんだり、光村は音声案内があったり、新しい試みだと思ったのはQRコードの説明がされていた。日文は数については少ないが360度展開するものがあり、各社新しい工夫が見られたと思うが、授業にはどう影響すると考えられるか。

- ・代表調査員 すべてのQRコードを確認できていないが、音声や動画での説明は有効だと感じている。
- ・委員 光村は各項目に、「鑑賞と表現」が学習できるように記載されているが、これが、授業ではどうなのか。
- ・代表調査員 「鑑賞と表現」となっているのは、流れとすると良いが、授業のやり方であって、なくても問題はないと考えています。
- ・委員 光村は一部で紙質を変えているが、素材の違いがあることによって子ども達はどうか。
- ・代表調査員 日本の文化でもあり、子ども達には身近なものもあるので、工夫の一つだと思っています。
- ・委員 どの教科書も印刷技術の進歩を感じるが、その中でも、日文の実寸大の作品が取り上げられているのは特徴的だと思うが、絵画やデザインがどれだけ社会を豊かにしているかということ、面白く流れに沿って教えているなど感じた。パソコンでデジタル的に作ったり、印刷したりではなく、レタリングの方法など自ら生徒が作品を創作するような提案をしている教科者は日文以外にもあったか。
- ・代表調査員 調査研究の中ではできていませんのでお答えできません。
- ・委員 すべての教科書において、工業デザインが多く出てくるが、最近では工業デザインを重要視してきているのか。
- ・代表調査員 調査研究の中ではできていませんのでお答えできません。
- ・委員 日文が大きい作品を多く取り扱っているのは目を引き、「鑑賞」の部分ではそれぞれに工夫が見られたが、「表現」については差があると感じた。デッサンする場合や物を作る時の説明が、光村は順を追った分かりやすいと感じたが、「表現」については調査されたか。
- ・代表調査員 調査できていませんのでお答えできません。

【社会・地図】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(社会P3～7、地図P8)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 まとめ、振り返りの充実度はどうか。
- ・代表調査員 基本的な部分をはじめに記入させて、記述式で図や資料を比較して違いを出させ、自分の考えを整理して書かせるといった、基本の振り返り、発展の振り返りと各社違いはあるが、工夫していて充実していると感じました。
- ・委員 気候変動や災害等の使われているデータや写真が少し古いと感じるが。
- ・代表調査員 どの教科書も様々な資料を使い、今の時代にあったものを使用していると感じました。身近な写真や資料も使っており工夫がみられる。
- ・委員 公民分野は人間形成に大切な分野だと思うが、イデオロギーについて偏ったところは見られなかったか。
- ・代表調査員 どの教科書についても、特に公民については、配慮され偏った考え等は見受けられませんでした。
- ・委員 社会の3分野と地図となるが、統一的な方が良いのか。地図は東書と帝国しかないが。
- ・代表調査員 1年生、2年生で地理と歴史、3年生で歴史と公民を学習するので、教科書の構成が一定一緒の方が教えやすいし、学ぶ生徒も分かりやすいとは思いますが。関連個

所をマークして記載し、学習を振り返りやすいと思います。

- ・委員 歴史の分野で日本史と世界史の進み方などのバランスや順序に各社違いがあったと思うが、そのあたりの印象はどうか。
- ・代表調査員 日本史と世界史がごちゃ混ぜになる生徒もいますので、そのあたりは丁寧に指導していかなければならないところですし、小学校での歴史学習と関連されていく必要があります。その点では、どの教科書も小学校での歴史学習をしっかり関連させながら、親しみやすいようにイラストを入れながら、どの時代か分かりやすいように年表などで示しながら作られているのが分かります。また、どの教科書も丁寧に用語解説があり、日本の歴史を中心に学習しながら、日本を取り巻く世界の歴史を考えさせたりする構成になっています。山川の歴史の教科書はとても詳しく記載があり、高校の歴史学習につながるような作りになっています。
- ・委員 先ほど、社会の3分野の教科書は構成が一定同じの方が使いやすいとあったが、地図との関連はどうか。地図帳は資料集的な使い方なのか教科書とセットで学習する方が良いと思うか。
- ・代表調査員 東書はどの分野にもあり、版も統一され、系統的になっているが、地理で使った資料を地図でも資料として使うなど資料集的な扱いをしている。地図は統計資料やデータから読み取ることが求められるところですので、地図は本来の地図としての読み取る力をつけるという点で工夫があったと思います。
- ・委員 地理と歴史は、全体の中でどの部分を学習をしているか意識しなければならない教科だと思っているが、歴史については、先ほどの報告にあったように、年表スケールでどの時代を学んでいるかなどの工夫があったが、この点について見出しのページなどに工夫があった教科書はあったか。
- ・代表調査員 どの教科書にも章の冒頭で興味を持たせるような、遺産や人物の写真を使って工夫し導入の部分に力を入れていると感じました。その中で、各社見出しの工夫は様々でした。
- ・委員 写真やイラストにしても、使っているもので時代の背景の意図的なものを感じる教科書はなかったか。
- ・代表調査員 特に意図的なものは感じなかったが、人物を多く扱っているものや気付くことを大切にしていると感じた教科書はありました。
- ・委員 地図は2社だが、色やコントラストについての違いについて、何か感じられたことがあれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 色やコントラストの違いについては、どちらがどうかということはありませんが、見慣れている点だけで言えば帝国の方が見やすいという意見はありました。どちらも、等高線の色や写真は衛星写真を使うなどの工夫が見られました。
- ・委員 公民分野の改正点で、「対立と合意」、「効率と公正」への対応は各社どうだったか。
- ・代表調査員 丁寧にされている教科書は、「対立と合意」、「効率と公正」の部分にマークを付していました。

【保健体育】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P16)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 時代によって変わる部分があると思うが、薬物問題が気になっており、以前より身近になってきている分、しっかり薬物に対する認識を持ってもらいたいが、教

- 科書によって違いは感じられたか教えていただきたい。
- ・代表調査員 大きな違いはありませんでしたが、薬物だけではなく、どの教科書も今の時代にあった記載がありました。デジタルコンテンツには、直接、動画を読み込むものと、まず関連のものに繋がるものがありました。直接繋がるデジタルコンテンツのみは東京書籍でした。
 - ・委員 保健編から体育編となっている教科書と体育編から保健編となっている教科書があるが、これによって何か影響があるのか教えていただきたい。
 - ・代表調査員 指導する側からすると、どちらが先でも大きな影響はないと思います。
 - ・委員 AR技術を用いたデジタルコンテンツとあるが、あることについての効果があると感じられているのか。
 - ・代表調査員 拡張現実の体感ができるもので、あまり影響があるとは考えていないが、興味を持つことはできると思っています。
 - ・委員 章末に確認問題がある教科書とないものがあるが、学習する生徒にとってどちらが良いと思われるか。
 - ・代表調査員 章末問題については、生徒達の確認という意味では役立つと考えています。
 - ・委員 これまでの保健体育の教科書と今回の改訂で違いがあれば教えていただきたい。
 - ・代表調査員 デジタルコンテンツについては、これまでにはない視覚で確認できるという部分では、どの教科書も強調されていると感じましたし、見やすい、読みやすいと感じました。
 - ・委員 内容面について、スポーツなどが時代に合ったものになっているような部分はあったか。
 - ・代表調査員 生涯スポーツの部分で、中学時代だけではなく、将来にわたって自分がスポーツと関わっていけるような内容を取り扱っていると思います。
 - ・委員 報告書の中に、広げる、考える、調べる、探求するなどの様々な言葉が各社使われているが、自分で資料を探したり、学習を深めていくという部分で言えば、「探求」という言葉が一番的を得ていると思うが、調査の中で感じられたことがあれば教えていただきたい。
 - ・代表調査員 言葉は各社違いますが、生徒が順を追って、基本的なことから自分で掘り下げて学習を進めていくという点では、どの教科書も配慮し構成されています。

【国語・書写】

① 代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P 1～2)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 どの教科書もあまり違いが見受けられないように感じたが、竹取物語などどの教科書にもあるもので比べてみると、古典文が上段にあり、下段に現代文が書いてある教科書や古典文と現代文が並列になっている教科書があった。挿絵も上下左右にあるものと見開きになっているものがあり、レイアウトの見やすさなどの工夫があると思うが、その辺りについて感じられたことがあれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 レイアウトについては特にありませんでしたが、どの教科書も古典の世界に興味を持てるように親しみやすいように、挿絵等での工夫は見られると思います。
- ・委員 書写の時間は少ないと思うが、国語と書写との連動についてはどう感じておられるのか教えていただきたい。
- ・代表調査員 連動はしている部分は各社ありました。

- ・委員 同社の方が連動して指導しやすいということはあると思われるか。
- ・代表調査員 連動はしている方が指導はしやすいと感じますが、そうでないと指導しにくいということではありません。
- ・委員 国語の教科書で読み物としての作品数や漢字の数に違いがあると思うが、影響があると考えておられるか。
- ・代表調査員 大きな違いはないと感じたが、作品数というよりは、色々なジャンルの作品がまんべんなくそれぞれの課程で学べるようになっていたと思いますが、教科書によっては、それが学年に合わせて説明が示してあり工夫が見られました。
- ・委員 取り扱っている教材や作品が、教科書によっては違う学年に入っているが、難易度の面での影響はないと思うか。
- ・代表調査員 学年の違いによっての影響はないと思います。それぞれの教科書の本文を教えるのではなく、本文から読み取ってどう考えるか、読み取ったものを話し合って学びを深めるかという点を重視した構成になっていると思います。
- ・委員 光村だけがページ番号が上にあり、目に入りやすいと感じたが、今までにないように思うが、何か感じられることがあったら教えてください。
- ・代表調査員 特に意見はありません。
- ・委員 新しい作品や新しい観点を取り入れている特徴的な教科書があったか教えていただきたい。
- ・代表調査員 これまでにはない点では、他教科等との関連の観点でSDGsの記載や情報をどう国語として扱って、それをどう読み説いて考えて伝えるかという点が新しい学びになりますので、その情報をどう扱っているのかが特徴になると思います。また、新しい作者の作品を取り入れている教科書はありました。

【委員打ち合わせ】

- ・会長 本日の反省点などがあれば、次回の会議で活かしていきたいのでご意見があればお願いしたい。
- ・委員 冒頭で会長も言われましたが、報告については、報告書を読むのではなく、観点ごとに、それぞれ教科書の特徴や小学校とのつながりを報告していただきたい。
- ・会長 それでは、次回の会議は、そのように進めさせていただく。
- ・会長 次回の協議会は、7月29日に同会場で開催するのでご協力いただきますようお願いいたします。

第3回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

令和2年7月29日(水) 13:15~16:50
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

- 1 開会 (地区協議会会長あいさつ 宮津市山本教育長)
- 2 令和3年度使用中学校教科用図書に関する研究報告

【技術】

① 代表調査員の報告

- ・調査員3名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P17)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 デジタルコンテンツの重要性をご報告の中で言われたが、QRコードの配置が各教科書で違う。東書は巻末に一覧としてあり、他社はそれぞれの該当ページに配置されていると思うが、この差が授業に影響するかどうか教えていただきたい。
- ・代表調査員 内容的には、どの教科書も充実しているものですが、QRコードの配置の違いについては、指導者の立場とすれば該当ページにQRコードがある方がスムーズに行えると考えていますし、一覧になっていると勝手に違うところを開く可能性はあると思います。
- ・委員 開隆堂は道具などの写真を多く扱っていると報告の中であったが、この点が授業の中で便利であると考えられるか。
- ・代表調査員 この部分だけを授業で説明をすることはないと考えるが、数とすれば相当数が記載されていますので、有効であると考えています。
- ・委員 プログラミング教育の取り扱いに特徴があったか。
- ・代表調査員 どの教科書も必要な事項は全て盛り込まれていますので、教科書によって違いが出るとは考えておらず、学校における環境に左右されるのではないかと考えています。
- ・委員 個人情報やプライバシーなどの情報モラルについての内容に違いがあったら、教えていただきたい。
- ・代表調査員 題材に差はないと考えています。
- ・委員 教科書によって章立てに違いがあり、教図は他の教科書より1つ多い章になっているため、この部分の教科書としての特徴の指導のしやすさがあるのではないかとと思うが、感じられたことがあれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 学習指導要領で言いますと、4つの振分けになっていますので、教図の1つ多い章はプラスαの部分ですので、指導しなければならない中身が教科書によって差が出ているということではないと考えています。
- ・委員 教図が索引の用語数が少ないが、重要用語が少ないということか。
- ・代表調査員 どの教科書も学習指導要領上の中身に不足しているということはありませんが、東書と開隆堂については、内容も豊富であると報告させていただいたところです。教図については、内容を精査され、字を大きくしたり、別冊があったりとされているところが特徴であると考えています。
- ・委員 掲載内容を精査していることが、分かりやすさにつながるのか。プログラミングの導入部分の説明は分かりやすさに差が出ていると感じたが、その点の特徴があ

- れば教えていただきたい。
- ・代表調査員 教図については、すべての項目でこのような編集の仕方となっていますし、資料の数が少ない開隆堂については、説明に多くのページをさいている編集になっていると思います。プログラミングの導入の部分で言えば、小学生から学習しますので、その点で大きな違いがあるとは考えていません。
 - ・委員 実習を伴う教科書ですので、実習の安全性についての記載に特徴点があれば教えていただきたい。
 - ・代表調査員 どの教科書もしっかりと取り扱っており、大きな違いはありませんでした。

【数学】

① 代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P 9～10)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 小学校の算数から中学校の数学になる中で、生徒が戸惑わないように東書は0章を設けスムーズな移行ができるよう工夫されていると報告にあるが、他の教科書にも工夫は見られるのか。
- ・代表調査員 特徴的なものを報告書に記載したもので、どの教科書にも同様の工夫は見られました。
- ・委員 啓林館の教科書がこれまでと構成などが大きく変わったと感じたが、授業で影響があるのか感じられたことがあれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 特徴としてはあると思いますが、指導する側、生徒が学びやすいのかという点では、2部構成の「自分から学ぼう」編は、教師の指導力が求められる構成になっていると感じました。
- ・委員 ずっと同じ出版社の教科書から前回変わったが、教える側も生徒も戸惑いはなかったか。
- ・代表調査員 教師側からすると教科書が変わると準備も変わるため、当初は戸惑いもあったかもしれませんが、教科書を教える訳ではなく、教科書で教えるものですので、その点は問題ないと考えています。
- ・委員 例題の数は大きな違いはなかったか。
- ・代表調査員 大きな差はないと感じました。
- ・委員 QRコードの数が教科書によって違いがあるが、数学の授業では影響があると思うか。
- ・代表調査員 啓林館は特に力を入れていると感じました。これからの授業では数学に限らず、デジタルコンテンツは関心を持って取り組んでいかなければならないと思っています。
- ・委員 小学校から中学校へのつながりから言えば、小学校と中学校の教科書が違うことによる子ども達に戸惑いはあると考えているか。
- ・代表調査員 特にないと考えています。
- ・委員 項の表記の仕方に差があるように感じたが、この点について感じたことがあれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 負の数に括弧を付ける付けないなど、項の表記や説明に違いはありますが、影響はないと考えています。
- ・委員 デジタルコンテンツについては、啓林館、数研が数も多く、力を入れていると思うが、この点について感じたことがあれば教えていただきたい。

- ・代表調査員 デジタルコンテンツはこれまではなかったもので、これからの部分が大きい
ため、今の段階では判断まではできていません。
- ・委員 学力の高い層、あるいは、つまずきやすい層に配慮しつつ力を入れているなどの
特徴があれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 啓林館の2部構成の特に「自分から学ぼう編」では、幅広く多くの情報がありま
すし、東書はこれまでより計算問題数を増やしていると感じました。

【家庭】

① 代表調査員の報告

- ・調査員3名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P18)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 QRコードの配置が各教科書で違う。東書は巻末に一覧としてあるが、他社はそ
れぞれの該当ページに配置されていると思うが、この差が授業に影響すると思
うか教えていただきたい。
- ・代表調査員 調査の中で特に意見はありませんでした。
- ・委員 家庭科は生活に密着している教科だが、特に食に関すること等で丹後地域に関連
しているなどの特徴があれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 その点については、特徴はありませんでした。

【外国語】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P19～20)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 2年生からページをまたがるような長文が増えてくるが、QRコードがページご
とに分かれている教科書と長文に1つになっている教科書がある。また、スライ
ドバーがあるものかないものもあるが、この点についての使いやすさなど、どう
感じておられるか教えていただきたい。
- ・代表調査員 スライドバーには慣れている生徒が多いため、スライドバーがある方が使いやす
いとは思いますが、QRコードは分かれていても1つでも影響はないと考えてい
ます。指導者側からすると、分かれているものと全体のもの、どちらもあれば便利
だと考えています。
- ・委員 東書は、高校入試に対応し、段階的な読む力の育成のため、多様な文章形式を取り
上げている。と報告にあるが、3年生には重要視するところだということか。
- ・代表調査員 東書は版が大きいので、情報量が多いのが特徴の一つだと思っていますが、入試
部分については、各教科書工夫されているところです。
- ・委員 1年生では、小学校からの英語の授業を振り返りながら始まると思うが、連携は
重要と考えているか。
- ・代表調査員 どの教科書も小学校からのつながりは、復習しながらの導入となっていますので、
指導者側からすれば、指導の方法なので特にどの教科書になっても問題はないと
考えています。
- ・委員 版の大きい東書は、教科書を開いた時に特に大きく感じるのでは、机が小さいと困
ることがあるのではないか。
- ・代表調査員 授業では教科書、ノート、プリント、ファイルと4点を使用しているのでは、机が

- 小さいと工夫は必要だと思います。
- ・委員 構成や学習する項目の順番が教科書によって違うので、習う学年や順番が違うということだが、この点について問題はないか。
 - ・代表調査員 習う順番については、高校で学習していたことが、一部中3で習うことになっているので、中3の内容が中2で出てくるなど前倒しとなってきています。このため、どの順番で学習するかが教科書で違いが出てきているところですが、順番の違いによって大きな影響はないと考えています。
 - ・委員 啓林館は語数・英文量が比較的少ないと報告にあるが3年間で語彙が少ないということか。
 - ・代表調査員 啓林館については少なめになっていると感じています。
 - ・委員 教科書にノートのように書き込むようになっており特徴的だと思うが、何か感じられたことがあれば教えていただきたい。
 - ・代表調査員 現行の教科書でも、教科書に書き込むページもあるが、ワークシートに書かせる教師が多いためこの点についての違和感はありませんが、こういったページが増えてきていると感じました。

【音楽】

① 代表調査員の報告

- ・調査員3名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P13)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 教芸の教科書は「音楽ってなんだろう」から始まり、社会とのつながりや音楽を通しての心情の表現など感性を育てる記載が多くあり、内容が充実していると感じたがどう考えているのか。
- ・代表調査員 音楽の資質能力に関わる、生活や社会との関わり部分にそれぞれ工夫されている点があると思います。
- ・委員 バレエや和楽器、歌舞伎など深いところまで掘り下げているように感じるが、音楽の授業ではどういう指導の流れになるのか教えていただきたい。
- ・代表調査員 歌唱、器楽、創作、鑑賞の4領域が少し前までの指導でしたが、今は、すべての領域を音楽活動の中で紐づけて、子ども達が体感して音楽の情操を高めるとなっています。そして実際に聞いて、感じ、自分たちでやってみよう、作ってみようという部分が求められているところです。音楽以外の活動とどう結び付けるかを意識しながら実践をしています。
- ・委員 新型コロナウイルス感染症対応で、なかなか今年は歌唱などできないこともあると思うが、今後も感染症対応をしながらの音楽の指導となると内容としてどちらの教科書が使いやすいと思うか。
- ・代表調査員 どちらも内容として問題はないと思いますし、新型コロナウイルス感染症対応と言えるか分かりませんが、横断的な学習という観点で言えば、教芸の方が一般との関連・共通曲が多かったと感じています。

【道徳】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P21~22)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 現在使用しているあかつきはレベルが高いと感じているが、生徒の理解度はどうなのか。
- ・代表調査員 道徳教育については、各学校で力を入れて取り組んでいるところですので、理解は進んでいると思っています。
- ・委員 東書の付録に12冊の本を紹介しているが、必要な項目だと思うか。
- ・代表調査員 子ども達にとって、学校は学びとの出会いの場ですので一つの学びのきっかけになるとは思います。
- ・委員 教材の数として35程度あり、年間の授業数と同じ程度だと思うが、ボリュームとしては適切だと感じているか。
- ・代表調査員 教科書によっては少し読み物のボリュームが多いと感じるものもあったが、それぞれに工夫がなされていると思っています。
- ・委員 いじめ問題、キャリア教育についての記載は各社あると思うが、同和問題についての取り扱いはどうか。
- ・代表調査員 同和問題については、人権教育として学校の教育活動全体で指導しています。同和問題としてははっきりと取り上げて記載しているものはありませんでしたが、命を大事に考える教育、人権の尊重などを全面に出している教科書など特徴はあったと思います。
- ・委員 評価が難しい教科だと思うが、別冊に自己表現を書かせて、自分の成長を振り返るなどの教科書があると思うが、この点についての特徴があれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 自己表現や振り返りを別冊に記入できる教科書はあるが、ワークシートなどの活用もあるため別冊がないとできないことはないと思っています。
- ・委員 道徳の特性として、教材のタイトルに学習の目安があまり細かく書かれていると先入観を与えるため、道徳教育には適さないと考えるが、この点について感じていることがあれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 それぞれの特徴だと捉えています。細かく書いてあることで子ども達が入りやすく、そこから深めていく構成になっている教科書、また、分からないことで考えさせる構成になっている教科書、それぞれ長所・短所があるかと思っています。
- ・委員 議論する道徳というコンセプトで進められている道徳教育だが、特徴や配慮されている点があれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 東書で言えば、「話し合いの手引き」のように、どの教科書にも議論する道徳という視点は取り入れられていますが、この点だけで話し合いがしやすいとは言えないと思っています。光村では、「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」といった発問があり、特徴的だと考えています。議論で言えば発問の数が一つの考えるきっかけになるとしています。発問が多すぎると議論が深まっていけないのでしばっている教科書もあれば、発問が多い教科書では簡単に答えられるものから深めていける構成になっており、各社工夫されていると感じました。

【委員打ち合わせ】

- ・会長 次回の第4回丹後教科用図書採択地区協議会は、8月7日に予定している。

第4回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

令和2年8月7日（金）9：00～10：50
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

- 1 開会（地区協議会会長あいさつ 宮津市山本教育長）
- 2 令和3年度丹後地区使用中学校教科用図書にかかる選定協議

【選定方法について】

会長：選定方法については、挙手による合意とし、複数にわかれた場合は、2社に絞ってから選定する。

【中学校 国語（国語）（書写）】

会長：はじめに、国語（国語）（書写）について協議をお願いします。

委員：国語（国語）については、学習の見通しを冒頭で示し、学習の流れや内容が分かりやすい。見開きになっていて見やすく、各章のはじめに写真を配置し、生徒が興味・関心をもって学習できるよう工夫されている。また、当地域にゆかりのある作者も取り上げられており、生徒になじみやすい。以上のことから、光村がよいと考える。

委員：光村も良いが、東書も新しい作品を取り入れるなど良かった。また、三省堂も俳句など良い点があった。

委員：国語（書写）については、国語と連動している部分が多く、同じ発行者のものを使うことで利点もあると考え、光村がよいと考える。

会長：他に意見がなければ、国語（国語）について、光村でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

会長：国語（書写）について、光村でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【中学校 社会（地理）（歴史）（公民）（地図）】

会長：次に社会（地理）（歴史）（公民）（地図）について協議をお願いします。

委員：社会（地理）（歴史）（公民）の3分野は関連が深く、同じ発行者のものを使うことで構成等も同じでわかりやすく利点もあると考える中で、全体的に構成や内容のバランスがよく、特設ページを設け、地理・歴史・公民のそれぞれの分野の視点から考察できるようになっており、東書がよいと考える。

委員：社会（歴史）においては、育鵬社が探求するスタイルで良かった。

委員：社会（地図）については、地図本来の役割としてのグラフやデータを読み取ることに力を入れ、深く考えられるよう工夫されているため帝国がよいと考える。

会長：他に意見がなければ、社会（地理）について、東書でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

会長：社会（歴史）について、東書でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

会長：社会（公民）について、東書でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

会長：社会（地図）について、帝国でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【中学校 数学】

会 長：次に数学について協議をお願いします。

委 員：小学校の算数の学習指導との連携を図っていて、数学への導入部分が分かりやすく大日本がよいと考える。

委 員：東書や啓林館は例題が多く、解き方がわかるということなどから、自主学習の場面においてもよいと考える。

委 員：身近な生活と数学の関連を示し、生徒が興味・関心をもって学習できるよう工夫されており、大日本がよいと考える。

委 員：数学が好きな子どもは啓林館の教科書で伸びると思うが、どの子ども達にとってもということと考えるとわかりやすい大日本がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、大日本でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【中学校 理科】

会 長：次に理科について協議をお願いします。

委 員：SDGsに関する記載が充実しており、中学生の理科のまとめとして学習させており、啓林館がよいと考える。

委 員：デジタルコンテンツも充実しており、興味・関心を持たせる工夫をされており、啓林館がよいと考える。

委 員：日常生活や社会とのつながりに関連した事例を非常に多く取り扱っており、丹後ジオパークなども記載されており当地域の生徒にとってなじみやすい。以上のことから啓林館がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、啓林館でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【中学校 音楽】

会 長：次に音楽（一般）（器楽合奏）について協議をお願いします。

委 員：音楽の楽しさを伝える工夫が、教科書全体から感じられる。合唱祭や行事などに使用できる楽曲を多く扱っている。また、一般と器楽合奏で関連・共通曲が多く、個人楽器を主としたアンサンブル教材は楽器の差し替えも容易でフレキシブルに指導できるように工夫がされている。以上のことから、教芸がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、音楽（一般）について、教芸でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

会 長：音楽（器楽合奏）について、教芸でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【中学校 美術】

会 長：次に美術について協議をお願いします。

委 員：鑑賞を鑑賞だけで終わらず、目標と問いかけで表現活動や技法につなげる構成になっており、光村がよいと考える。

委 員：教科書全体の細部にまで美術的な要素が取り入れられており、光村がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、光村でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【中学校 保健体育】

会 長：次に保健体育について協議をお願いします。

委 員：言葉の遣い方が分かりやすく丁寧に記載されている。Webページも豊富で、AEDの使用方法なども初めて見る生徒でも分かりやすいものとなっている。以上のことから、東書がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、東書でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成全員]

【中学校 技術・家庭（技術）】

会 長：次に技術・家庭（技術）について協議をお願いします。

委 員：索引の用語数が多くQRコードも充実している。内容が豊富で資料と一体的な構成になっているため読みやすい。以上のことから東書がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、東書でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【中学校 技術・家庭（家庭）】

会 長：次に技術・家庭（家庭）について協議をお願いします。

委 員：写真や挿絵などの配置や全体のバランスが良く見やすい。作業の手順が分かりやすい。SDGsに関する内容について、衣食住全ての部分で中学生にとって理解できる内容になっている。以上のことから、開隆堂がよいと考える。

委 員：裁縫の手順や浴衣の帯の結び方などのQRコードが有効的に配置されており、開隆堂がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、開隆堂でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【中学校 外国語（英語）】

会 長：次に外国語（英語）について協議をお願いします。

委 員：小学校の外国語の学習指導との連携に利点があり、QRコードが多く内容についても充実しており、東書がよいと考える。

委 員：「聞く」、「話す」学習において、QRコードが有効的に工夫され配置されている。また、学習量が増えている中で、版も大きく情報量が豊富である。以上のことから、東書がよいと考える。

会 長：他に意見がなければ、東書でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【中学校 特別の科目 道徳】

会 長：次に特別の科目 道徳について協議をお願いします。

委 員：考え、議論する学習が進むように場面設定がされており、内容が充実しており、あかつきがよいと考える。

委 員：「学習の手がかり」で考え方の方向性のみを示し、自分で考えを深めていけるよう工夫されている。別冊の道徳ノートに学習の記録を書き込み自己評価できる。以上のことから、あかつきがよいと考える。

委 員：落ち着いて考えさせる意図を感じるあかつきがよかったが、学びやすい配慮がある学研もよかった。

委員：道徳をしっかりと取り組ませるという点であかつきがよかったが、別冊には一長一短があると考える。また、考えさせるという点で東書も良かった。

会長：他に意見がなければ、あかつきでよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

会長：以上で選定協議がすべて終了した。

改めて、選定結果を報告する。

●選定結果

【中学校】

国語(国語)・・・光村
国語(書写)・・・光村
社会(地理)・・・東書
社会(歴史)・・・東書
社会(公民)・・・東書
社会(地図)・・・帝国
数 学・・・大日本
理 科・・・啓林館
音楽(一般)・・・教芸
音楽(器楽)・・・教芸
美 術・・・光村
保健体育・・・東書
技術・家庭(技術)・東書
技術・家庭(家庭)・開隆堂
外国語(英語)・・・東書
特別の科目道徳・・・廣あかつき

事務局：選定結果及び選定理由は、後日、事務局から各市町（組合）教育委員会へ送付させていただく。

それらを踏まえ、各市町（組合）教育委員会で採択をお願いします。

3 閉 会